



吹田市

文化財ニュース

No. 13

平成4年3月10日

〒564 吹田市泉町1丁目3番40号
吹田市教育委員会
TEL. (06)384-1231

平成3年度の文化財保存事業の成果

平成3年度の埋蔵文化財発掘調査事業は垂水南遺跡・蔵人遺跡・吉志部瓦窯跡・垂水西原古墳など8件の遺跡に対して実施されました。このうち、垂水南遺跡ではビル建設に伴い、平成3年10月から12月にかけて行った垂水町3丁目25の第41次調査と平成3年11月から12月にかけて実施した3丁目31の第42次調査の2件の発掘調査が行われ、古墳時代の河道・溝、平安時代の河道・護岸施設等の遺構が検出されるとともに、古墳・平安時代等の土師器・須恵器・瓦などの遺物も多量に出土しました。

また、蔵人遺跡（第5次）では平成3年7月から8月にかけて、共同住宅建築工事に伴う事前調査として発掘調査が行われ、中世期の柱穴群・溝・土壇などの遺構と共に瓦器・土釜・土師器皿・青磁などの遺物が多量に出土しました。蔵人遺跡でこれまでに数回の発掘調査が行われてきましたが、建物跡と考えられる柱穴群が検出されたのは今回で2例目で貴重な調査成果でした。



▲垂水南遺跡発掘調査作業風景



▲勾玉の出土(垂水南遺跡)

蔵人遺跡の発掘調査



▲蔵人遺跡位置図(1:7500)



▲蔵人遺跡調査地全景

今回の調査では、土師器・瓦器などの多くの中世期の土器の出土とともに、遺構面が4面検出され、このうち2つの層位からは、建物跡と考えられる柱穴群とこれに関連する構が検出されました。

鎌倉時代の遺構面からは、調査区北側に集中して柱穴が発見され、この中には柱根が残った状態の柱穴も検出されました。次に室町時代の遺構面からはこれまでに建物跡数棟を構成すると考えられる柱穴が多数発見されましたが、このなかには根石等が残っている柱穴も数か所確認されました。

蔵人遺跡は、平安時代の初め頃に成立した東寺領垂水荘の中心集落であった蔵人村があった地点です。古文書などの文献史料から、当遺跡一帯には名主の屋敷地や寺院などの建物が点在していたことがわかっています。今回検出した建物群もこれらに関わるものであった可能性が考えられます。



▲柱根が残っている柱穴

垂水南遺跡の発掘調査



▲垂水南遺跡位置図(1:7500)

●垂水南遺跡第41次調査の成果

垂水町3丁目25において平成3年10月～12月にかけて行われた垂水南遺跡第41次調査では古墳時代と平安時代の遺構・遺物の検出がありました。古墳時代では南北方向の溝が検出され、調査区の東隣に展開する住居跡群に関連した遺構の可能性がります。平安時代では南北方向の河道が検出され、これには杭と横木による護岸が施されているのが確認されました。出土遺物で注目されるものとして古銭(隆平永宝)が挙



▲皇朝十二銭の一つ、「隆平永宝」

げられます。奈良～平安時代にかけてわが国で鑄造されたいわゆる「皇朝十二銭」のうち隆平永宝は4番目に造られたもので、延暦15年(796)の初鑄です。吹田市では初めての出土であり、弘仁3年(812)成立の東寺領垂水庄関連遺物の可能性もあります。

●垂水南遺跡第42次調査の成果

第42次調査は、垂水南遺跡のほぼ中心地を発掘した第41次調査の南東約100mのところの位置しています。今回の発掘調査では古墳・平安時代の遺構面を検出し、いずれの面からも河道と溝が発見されました。この

うち、北東から南西に向かって流れる溝(溝2)は41次調査で発見された溝の延長線上にあり、同じ溝である可能性が考えられます。そしてさらに、北西方向から南へ流れる大型の河川(河道4)と合流していることがわかりました。

遺物については、主に溝の埋土から集中して堆積しているのが見つかりました。遺物群からは古墳時代の布留式土器や須恵器が多量に含まれていましたが、これに混ざって建築用材と考えられる板・角材、杭などの木製品も多数出土しました。集落が移動する際に要らなくなった材木を捨てたのでしょうか？これらの遺物が溝の最上層に集中して堆積していたことから、集落の廃絶とほぼ同時期にこの溝が終焉を迎えたことが想像されます。今回の調査により、垂水南遺跡の集落が河道・溝等による水利用と密接な関わりを持つ集落であることがわかってきました。垂水南遺跡における集落のあり方を考える上で貴重な成果と考えられます。



▲古墳時代の溝



▲河川の護岸施設(平安時代)



▲垂水南遺跡第42次調査地全景

完成まぢか!

(仮称) 吹田市立博物館



市制50周年を記念して、郷土の歴史と文化財を学習するための専用施設として岸部北4丁目の紫金山公園に建設されている(仮称)吹田市立博物館は、工事も最終段階を迎えました。

博物館は鉄筋コンクリート造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)地上3階建て、千里丘陵の谷間を利用し、山のふところに抱かれたような建築構造をとっており、その3階に展示室があります。

博物館は、歴史資料や文化財の収集・調査研究・展示を目的とする教育施設で、博物館法によって、その業務が規定されています。そのため、歴史資料を取り扱う専門職員である学芸員が配置され、市民の皆様の利用に便宜をはかることとなっています。

ここで、簡単に施設内容を紹介します。

〔1階〕

最下層のこの階は資料の搬入口で、ここに搬入された資料は、荷解きと検査を受けたのち、収蔵庫に運ばれます。また、防虫・防菌処置の必要な資料のために、特殊な文化財燻蒸装置が設置されています。

〔2階〕

この階は講演会や歴史講座、学習会などを開催する講座室があります。映画・ビデオ・スライドなどの視聴覚設備があります。

また、収蔵庫・研究室・整理室・保存処理室などの収蔵・研究部門もあります。

〔3階〕

展示室と事務室・館長室などがあります。展示室は3室あり、このうち、第1展示室は原始

古代から、現代までの吹田の歴史を、通史の流れのなかに展示したもので、実資料や模型・ジオラマ、そしてビデオガイドシステムなどを駆使して展示されています。

第2展示室は、本市の古墳時代・歴史時代を代表する窯業遺跡をテーマとした展示室で、中央には、32号須恵器窯跡・12号須恵器窯跡・七尾瓦窯跡・吉志部瓦窯跡の実物大の窯が配列されており、当時の窯業技術の姿を、そのままの迫力で見ることができます。なかでも、12号須恵器窯跡は、佐井寺南区画整理事業地のなかにあったもので、造成によって破壊されることが予想されたため、樹脂で加工し、特殊な梱包をしてこの博物館に搬入されたものです。博物館の建設と埋蔵文化財の保存の双方の目的を一致させた、全国でも珍しい資料です。これらの窯の前には、ビデオガイド装置があり、窯の技術的な進歩の過程が、わかりやすく映像で解説されています。

なお、期間とテーマを限って行う特別展や企画展のための、特別展示室もあります。



▲工事が進む第1展示室

このほか、映像で郷土の歴史と文化財を紹介したビデオコーナーや、図書コーナーなどがあります。

工事が竣工したのち、館内大気の安定を待って、資料を搬入・展示し、今年の11月には開館を予定しております。



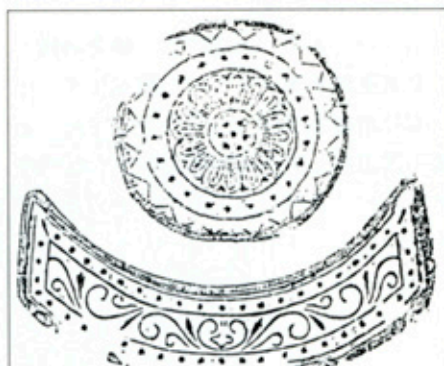
▲第2展示室の窯の実物大資料の展示

し せき な お が よう せき かん きょう せい び こう じ
史跡七尾瓦窯跡の環境整備工事

岸部北5丁目10番地他に所在する七尾瓦窯跡は聖武天皇の時代に整備された難波宮の宮殿に使用された瓦を焼いた大規模な瓦窯跡群です。

難波宮造営のための瓦窯としては唯一実態の明らかとなっている窯であり、昭和55年3月に国の史跡に指定され、保存されています。

市では平成元年から瓦窯跡を訪れる見学の方々に理解を深めていただくために整備事業に着手し、平成3年3月に完成しました。



◀ 焼成された瓦



◀ 園路と階段を設け、史跡の全域を説明板を見ながら散策できるようにしました。



▲ 窯跡は埋没している位置とその形を地表の配石と植栽によって表わしています。



▲ 阪急バス七尾西下車すぐ。駐車場はありません。

文化財施設案内 五反島遺跡展示室

吹田市南吹田5丁目34番地には、平成2年6月オープンした五反島遺跡展示室があります。ここでは昭和61年度に南吹田下水処理場増設工事に伴う発掘調査で出土した遺物の一部が展示され、見学できるようになっています。

展示品は神崎川の移り変わり、古墳時代の五反島遺跡、古墳時代から歴史時代へ、平安時代の五反島遺跡、古代・中世の神崎川、古代堤防の保存工事等の項目に分かれて展示されています。

弥生土器、土師器、須恵器、韓式系土器、瓦器等の土器類の他、刀子・ちょうなど鉄器の復元品、堤防の保護のために使われた杭、平安時代の堤防の模型などもあり、神崎川をめぐる歴史的な移り変わりが学べるようになっています。お近くへお越しの際はぜひともお立ち寄り下さい。



▲展示室内部



▲古墳時代出土遺物



五反島遺跡展示室

(南吹田下水処理場分室2F)

休館日 月・火曜日、年末・年始

開館時間 午前10時から午後4時まで

入館無料

地下鉄御堂筋線江坂駅下車 南へ徒歩約15分
阪急バス吹田南小学校前下車 南西へ徒歩約10分

寄 贈 資 料

(平成3年2月13日より平成4年2月1日現在)

寄贈年月日	寄贈者(敬称略)	寄 贈 資 料 名	(数量)
3. 2. 14	小 西 盛 昭	唐箕	1点
3. 2. 15	早 田 隆 三	一斗拵、斗棒、焼印	4点
3. 3. 5	上山手町自治会	押麦機	1点
3. 3. 5	大 森 豊 吉	伸子針、湯たんぼ	2点
3. 3. 5	山 本 雄治郎	万博資料(ポスター、ガイド等)	20点
3. 3. 7 8. 5	今 井 芳 雄	万博資料(ガイドマップ、襟章、ネクタイピン)	10点
3. 3. 15 4. 24	辻 正 治	飲食器類、着物、行李、火鉢 他	58点
3. 4. 9 15	岩 澤 誠	村相撲化粧まわし、釈迦が池樋	2点
3. 4. 16	宮 辻 佐 市	稲刈機、筋引き、唐犁	3点
3. 5. 8	朝 田 平 治	左官道具一式	171点
3. 5. 31	川面町自治会	祭礼屋台、提灯、鈴	4点
3. 6. 1	東 秀 一	鍬 他	2点
3. 6. 12	寺 本 金 蔵	鍛冶道具	1点
3. 7. 3	中 井 健	田舟、バリキ、土さし	3点
3. 7. 8	齊 藤 政 春	万博パンフレット、ちぎ、下駄、炊事用具 他	115点
3. 7. 30	権 野 雄次郎	マンガなど農具、枕、灯籠、人形、古文書 他	約850点
3. 8. 9	滝 隆	カメラ、三脚 他	3点
3. 11. 26 4. 1. 17	村 崎 義 憲	雅楽太鼓、打ち掛け、柄鏡、狭箱	5点
3. 12. 2	金 谷 信 夫	こたつ、提灯 他	6点
4. 1. 10	塩 見 勇	疱瘡送り棧俵、くわい鴨形藁苞、兵児帯	6点
4. 1. 10	古 谷 玲 子	鍛冶道具	63点

御協力ありがとうございました。